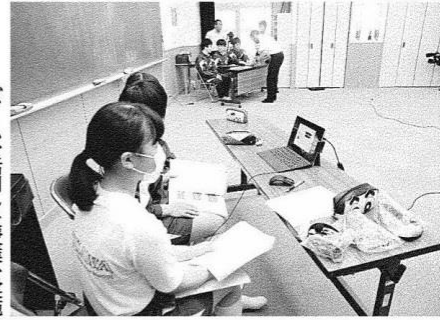


年 組 名前：

武川中と鷺川中 オンライン交流

北杜—北海道 休校中の過ごし方報告



北海道・鷺川中の生徒と、テレビ会議アプリ「Zoom（ズーム）」を使い交流する武川中生徒
北杜・武川中

2年前の北海道胆振東部地震を機に交流が始まった、北杜市の武川中と北海道むかわ町の鷺川中の両生徒会役員が11日、テレビ会議アプリ「Zoom（ズーム）」を使い、互いの近況を報告し合った。武川中は地震発生後、読み方が同じ鷺川中の存在を知り、応援メッセージや合唱を録画したビデオを送り、昨年は近況を報告するビデオメッセージを交換しあっていた。武川中が新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休校期間中、

ズームを活用した授業を実施していたこともあり、今年はオンライン上で交流を企画した。

この日は両校とも生徒会役員6人が参加。臨時休校中の過ごし方や、学校再開後の授業や部活動の様子を報告し合った。

鷺川中の生徒は、救助者に見立てたぬいぐるみを布に乗せてグループで運ぶ競技「防災リンピック」を上演。被災経験を後世に引き継ぐために体育大会で実施したと紹介した。

武川中生徒会長の功刀樹菜さんは「武川中の学園祭でも『防災リンピック』を取り入れたい。今後も鷺川中の生徒と意見交換するなど交流を続けていきたい」と話した。

(2020年6月18日付 山梨日日新聞 13面)

問1

両校の交流が始まったのは何年前からですか。

.....

問2

交流となったきっかけは何ですか。

.....

問3

鷺川中が実演した『防災リンピック』競技の目的は何ですか。

.....

.....

問4

交流を通じて、どんなことが得られるでしょうか。

.....

.....